

2018（平成 30）年度
相談支援センターあんず 事業報告書

はじめに

平成 30 年においても、基本方針に沿って計画相談の作成にあたった。今年度も、利用者さんの加齢及び疾病による障害状態の重度化や、家庭の介護力低下に伴い、利用者さんの抱える課題が大きく変化したケースが複数あった。そうしたケースへの対応では、自立した生活を維持していくための適切なサービス内容・量について、利用者さんやご家族に専門的なアドバイスを行い、計画変更につなげていった。利用者さんのほとんどがあんずの家の利用者さんであるので、ご本人、ご家族の変化に気づき、迅速な対応ができたことは評価できる。他方、あんずの家を利用されていない利用者さんからは、モニタリング以外では、当事者、家族、関係者からの連絡により、支給量の中での調整や、サービス利用についてのアドバイスを行うことにより、課題解決につなげるケースも多々あった。7 月の豪雨災害により被災され住いの場を失った人は、ショートステイで繋ぎながら入所への移行を進めた。居住の場の確保につなげることができた。

今後もこうした状況の変化に合わせた細やかな計画が必要となると想定され、ご本人やご家族のニーズに基づき計画作成を行うことはもとよりだが、関係する事業者間での情報収集、共有化を図り、モニタリング時期以外でも計画の見直しの必要性を検討する体制を整えていかなければならない。

また、多様化するニーズに 대응していくためには、行政、短期入所・日中一時や居宅介護事業者とネットワークを築き、安心してサービスを使っただけのように体制を整えていくことも必要である。そのためにも福山市総合支援協議会の相談支援事業者連絡会に積極的に参加し、相談支援専門員のスキルアップを図っていきたい。

1. 実施件数

▶サービス等利用計画

- ・ 26 件を作成した。

▶モニタリング及び評価

- ・ 28 件

▶サービス担当者会議開催等加算

- ・ 25 件

▶日常生活に関する相談

- ・ 認定されている障害程度区分により、支給されるサービス量の範囲内での計画変更への対応（行政、該当サービス事業者）や更新手続きの支援、サービス等利用計画の作成についての相談に対応した。
- ・ サービスの利用の仕方や手続きの進め方などの電話による相談に対応した。

2. 事業推進のための連携

福山市総合支援協議会相談支援連絡協議会に所属し、事例検討、情報交換に努めた。